

2017年度
鉄道安全報告書



上田電鉄株式会社

ごあいさつ

上田電鉄の安全報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。

鉄道事業の運営に当っては、施設・車両の不具合やヒューマンエラーに加え、甚大な被害をもたらす異常気象など様々なリスクがあり、安全を確保するには、このようなリスクをしっかりと認識し対応していくことが重要であると考えております。本報告書は、このような考え方にに基づき、より安全性を高めるための方針や施策を報告するものです。

2016年度は安全性や信頼性の向上を目指して、分岐器交換や踏切道の格上げ、沿線電話機の更新・増設などを実施いたしました。また、運用面においても異常時訓練や意見交換会の開催など継続的に取り組んでおります。

私どもは、鉄道をご利用のお客様や沿線にお住いの皆様、加えて、社員や協力企業メンバーの「安全・安心」を確保し、地域から信頼される鉄道を目指して取り組んでまいります。本報告書でのお気づきの点やご意見などをお寄せいただければ幸いです。

2017年9月

上田電鉄株式会社

代表取締役社長 今成 孝雄

1. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全・安心の確保です。「安全方針」「行動規範」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

【安全方針】

「安全の確保」は鉄道事業の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務である。

その安全は、役職員一人ひとりがルールの意義を認識しかつ遵守し、正則作業を確実に遂行することによって支えられている。

私たちは鉄道事業を担う誇りを共に持ち、役職員相互の双方向コミュニケーションをしっかりと行い、安全の障害となる問題を一体となって速やかに解決し、このお客さまに対する責務を誠実に果たし社会に貢献する。

【行動規範】

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱をする。

- ⑤ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

区分	目標
鉄道運転事故（衝突・脱線・火災等の有責事故）	発生させない
インシデント（鉄道運転事故が発生する恐れのある事態）	発生させない

(3) 重点施策

- ① 問題点の早期把握による安全対策の推進
 役職員相互の双方向コミュニケーションを活性化することにより、問題点を早期に把握し、迅速な対応を行う。
- ② 事故情報の確実な伝達と対策実施による再発防止
 自社および他社の事故情報を迅速、正確に職員に伝達し、必要な対策を速やかに実施する。また、過去の事故事例を踏まえ現在の状況を検証するとともに、必要により見直すことで同種事故の再発防止を図る。
- ③ 事故発生時の対応力向上
 事故想定訓練を定期的実施し、その結果の振り返りや反省点をもとに対応に反映させることにより、各職員の事故対応力の向上を図る。
- ④ 管理監督者による事故防止の取組み
 管理監督者による添乗指導等、現場作業への立ち合い実施により、気付き等を直接指導することで技能の向上と事故防止を図る。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置（平成2016年度）

(1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故は発生しておりませんが、輸送障害（30分以上の遅延や運休）1件が発生、お客様にご迷惑をおかけいたしました。

- ・2016年 8月18日 線路冠水 運休 5本

(2) インシデント

国土交通省へ報告する、インシデントの発生はありませんでした。

(3) 行政指導等

国土交通省より行政指導等はありませんでした。

3. 安全確保の取組み

(1) 安全輸送対策工事

当社では安全安定輸送を継続するため、安全輸送対策に取り組んでいます。主な安全輸送対策は、軌間保全のためのコンクリートまくら木への交換、老朽化したまくら木の交換、老朽化した分岐器の交換、軌道道床の硬質構造化、老朽化した橋梁の橋脚補修、踏切道の第三種（警報灯器のみ設置）から第一種（自動踏切遮断機設置）踏切道への格上げ、踏切保安設備の機器更新を実施しております。

2017年度以降も継続して着実な安全対策の実施に努めてまいります。

平成2016年度安全輸送対策

事業名称	実施箇所
コンクリートまくら木化	上田～別所温泉間 596本
まくら木交換	上田～別所温泉間 200本
分岐器交換	下之郷22番分岐器
軌道道床硬質構造化	下之郷～中塩田間 240m
橋脚の補修	千曲川橋梁・P3橋脚を補強
踏切道の格上げ	中丸田農道2号踏切道第三種→第一種踏切道へ格上げ
踏切保安設備の更新	上田原構内踏切・踏切保安装置の更新

安全輸送対策事業費

単位：千円

2016年度実績	2017年度計画
116,746	111,386



コンクリートまくら木化工事



中丸田農道2号踏切道の格上げ

(2) その他安全対策

第4種踏切道（警報機の無い踏切）全19か所の踏切に対して、警標を設置し明確に踏切であることが分かるよう改善致しました。

また緊急時（運転士専用携帯電話不通時）に運転整理担当者が配置されている下之郷駅への連絡手段として使用している沿線電話機を、通信回線を含め更新するとともに電話機

を各駅に加え駅間にも増設し、緊急時により迅速に対応出来るよう改善致しました。

また、今後も他社線で発生した事故事例を自社での事例として置き換え、現在の状況を検証、必要により見直すことで同種事故の再発防止を図るなど、安全の確保に努めてまいります。



第4種踏切道・警標設置



沿線電話機の更新と駅間増設

(3) 人材教育

- ・新規就業者には各部門担当者により業務に関する教育を実施、鉄道係員としての基礎知識を習得させています。
- ・運転、駅、技術の各担当係員には年間の教育訓練計画をもとに教育を行い、知識の充実・技術技能の向上に努めています。
- ・毎月職員を対象に開催している「業務研究会」の場で、自社および他社の事故事例再発防止教育として、事故発生の原因・背景・対策を学び事故防止の要点を教育指導しております。

(4) 異常時の訓練

踏切事故を想定し6月21日、22日に異常時運転訓練を、脱線復旧装置（ルーカス）の取扱訓練を9月27日に実施いたしました。

また緊急地震速報受信を想定し9月30日に千曲川橋梁、特殊信号発光器動作による緊急停止訓練。信号故障を想定し2月21日、22日に模型を使った、指導通信式の訓練を実施いたしました。



脱線復旧装置取扱訓練



千曲川橋梁緊急停止訓練

(5) 安全推進会議の開催

四半期ごとに安全推進会議を開催して、過去に発生した運転支障（途中停車、踏切障害、輸送障害等）の発生状況の再確認と原因・対策について振り返りを行い、対策内容の効果について検証ならびに確認を行っています。

また、事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットしたという情報を社内各職場から集約・共有し問題の早期発見につなげております。

(6) 夏季および年末年始輸送安全総点検時の社長、安全統括管理者による安全巡視線路等の安全が確保できているか確認を行い、改善点の指示をしました。



夏季輸送安全総点検・安全巡視



年末年始輸送安全総点検・安全巡視

(7) 意見交換会の開催

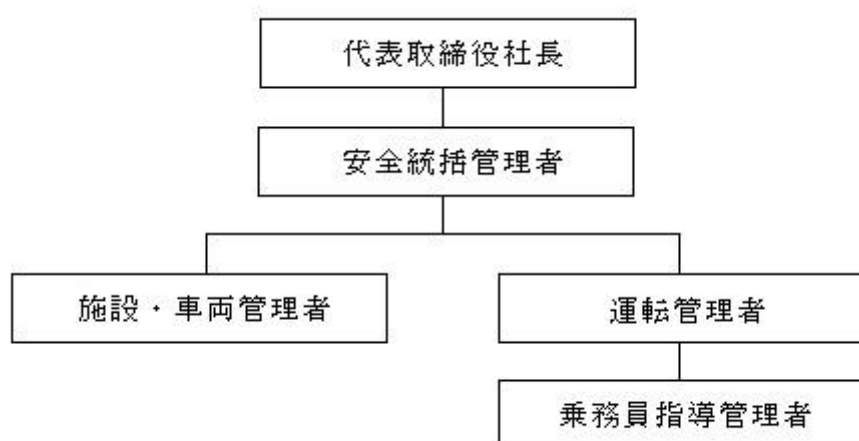
役職員相互の双方向コミュニケーションを図るため、社長と職員の個人面談や安全統括管理者が現場会議へ参加し、職場環境の改善や安全意識の向上を図っております。



毎月開催している業務研究会

4. 当社の安全管理体制

代表取締役社長	輸送の安全に関する業務の最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
施設・車両管理者	安全統括管理者の下、施設・車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する



5. 発行 2017年9月

6. 連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

上田電鉄株式会社

長野県上田市下之郷498

TEL 0268-39-7117 (月～金 9時00分～17時00分)

FAX 0268-38-7951

E-mail unyu@ukg.co.jp